高雄日本人学校 キャリア学習

プロレスラーによる職業講話

関札皓太（せきふだこうた）選手と台湾出身のレッカ選手、マリーハナ選手の3名のプロレスラーをお招きし、職業講話を行いました。

関札選手の「自分がなりたい姿や目標に向かって、『絶対にできる』と言い続けることが大事です。」の言葉やレッカ選手の「私は 30歳でプロレスラーになった。自分がやりたいことは、いつでも始められる。夢をもつことが大事だ。」という熱い言葉に児童生徒たちは強く胸を打たれていた様子でした。

プロレスといえば華やかな技の数々が魅力的ですが、それらの技を支えるのは日々の厳しいトレーニングの積み重ねです。講話の中でそれらの中のスクワットと腕立て伏せを紹介していただき、全校の児童生徒も一緒に挑戦しました。「1、2、3、……30！」と元気に回数を数えながら生き生きとした表情でプロレスラーたちと一緒に体を動かす児童生徒の姿が印象的でした。

すべての児童生徒にとって、夢や志をもつことのすばらしさを感じることができた充実した職業講話となりました。

講話を終えて ～児童生徒の声～

・強そうだったし、優しかったです。すごくよかったです。［小学部1年］
・かっこよかったです。また来てください。私はプロレスが好きです。［小学部2年］
・一番心に残ったことは自分の夢を大切にすることです。［小学部4年］
・プロレスラーになるまでのエピソードを教えてくれてありがとうございました。おかげで僕の夢に自信がもてました。［小学部5年］
・将来の職業選択の一助となるお話をありがとうございました。［中学部3年］